報 道 資 料

平成25年4月11日
市町村振興課 石原・吉川
内線(2254・2261)

「あなたのまちの財政状況(H23年度決算)」を作成

県内39市町村の財政状況(平成23年度決算)を、一般県民向け冊子「あなたのまちの財政状況(H23年度決算)」としてとりまとめました。

ここでは、財政を分析するための指標を「家計」に、財政状況を「健康状態」に例えて県民向けに分かりやすく説明しています。

また、全国の市区町村と比較した財政の健全度合いもご覧いただけます。

(本冊子の主な掲載内容)

○県内市町村の平均経常収支比率

【冊子P5～P9参照】

「夫婦の給料で生活がまかなえているか」に例えて説明

→ 94.1%(全国ワースト5位(前年度ワースト4位))

※この数値が100を越えると、臨時収入や貯蓄の取り崩しがないと生活できないことになる

○赤字市町村

【冊子P10～P14参照】

「家計が赤字になっていないか」に例えて説明

→赤字市町村はなし(H22年度 3団体)

・23年度決算で大和高田市、大和郡山市、御所市が黒字転換

○将来負担比率

【冊子P18～P19参照】

「夫婦や家族全体のローン残高や保証額は大きすぎないか」に例えて説明

→県内市町村平均 121.8%(H22年度 133.1%)

※この数値が大きいほど家計にとっては苦しい状況が長く続くことになる

(本冊子の見方)

次項参照：十津川村と香芝市を例にあげ、家計分析の視点から財政状況を分析

※冊子の配布予定場所(4月16日頃配布)

県民お役立ち情報コーナー等

- ・県民ホール(奈良市登大路町)
- ・西奈良県民センター(奈良市登美ヶ丘)
- ・県市町村会館(橿原市大久保町)
- ・吉野町中央公民館(吉野町上市)
- ・県立図書情報館(奈良市大安寺西)
- ・県産業会館(大和高田市幸町)
- ・桜井総合庁舎(桜井市粟殿)
- ・県文化会館(奈良市登大路町)

奈良県ホームページからもダウンロードできますので、ご活用下さい。

アドレス：<http://www.pref.nara.jp/secure/22370/23anatanomati.pdf>

問い合わせ先 奈良県地域振興部市町村振興課
財政第一係
電話 0742-27-8421

【本冊子の見方(一例)】

一般の家庭でも臨時的な収入を除く経常的な収入(=給料)で経常的に必要な支出(=最低限の生活費)をまかなえていること(本冊子では「経常収支比率」)が望ましく、また臨時的な支出を加えた全体の支出に対して、臨時的な収入を充てた上でも赤字になっていないこと(本冊子では「実質赤字比率」)が家計の健全さを示す目安です。

しかし、一定のやりくりが出来ていても毎年のローン返済(本冊子では実質公債費比率)が重すぎたり、将来に向けてのローン残高や保証額が大きすぎる(本冊子では「将来負担比率」)と家計が破綻する原因ともなります。

この点を本冊子で見てみる事が出来ます。
例えば、本冊子では十津川村では以下のとおりとなっています。

	経常収支比率	実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
十津川村	78.7	△4.79	6.1	△18.8
全国平均	90.3	—	9.9	69.2

上記から、十津川村では、家計に例えると

- ①給料の範囲内で最低限の生活費がまかなえている(経常収支比率が全国平均以下)
- ②毎年のローン返済が適正な範囲内(実質公債費比率が全国平均以下)
- ③ローン残高や保証額など将来に向けての負債の大きさが適正な状態(将来負担比率がマイナス=負債よりも貯金などが多い)といえます。

一方、例えば香芝市では以下のとおりとなっています。

	経常収支比率	実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
香芝市	89.0	△3.37	22.1	218.1
全国平均	90.3	—	9.9	69.2

上記から、香芝市では、家計に例えると

- ①給料の範囲内で最低限の生活費がまかなえている(経常収支比率が全国平均以下)
- ②毎年のローン返済額に課題がある(実質公債費比率が全国平均以上)
- ③ローン残高や保証額など将来に向けての負債の大きさに課題がある(将来負担比率が全国平均以上)といえます。

このように、単年度の決算状況がどうか、単年度の決算上の赤字の有無を含め、負債の状況がどうか、将来に向けた負担の大きさが適正かなど、複数の指標を活用した分析を行うことが、家計と同様市町村の財政の分析でも重要であるといえます。